

掛川市教育研究論文

～資料編～

学校名 掛川市立栄川中学校

所在地 掛川市本所 5 3 8

職・氏名 柳瀬 昭夫

I 教科書のcreativeな活用の実践例


(1)教科書本文を理解する活動

① 教科書本文はoral introductionで

導入の場面では、言語習得の過程に従い、音声から始めました。用意するピクチャーカードは、本文の内容に沿ったものとなるよう、教材用 PC につけ加えて画像を用意した。以下は、New Crown English Course3 の Lesson 4, "Sadako and a Thousand Paper Cranes"で用いた例である。

【Lesson4-1 教科書本文】

① Have you heard about Sasaki Sadako?
Sadako was two years old when the atomic bomb was dropped over Hiroshima. She suddenly became sick at the age of twelve. She had hope. She believed, "It is possible for me to get well. I'll make a thousand paper cranes."
Sadako died, but many people remember her. They make cranes for her and for peace.



【oral introductionで用いた8枚のPC】

①  ②  ③ 

④  ⑤ 

⑥  ⑦  ⑧ 

※教材用PCは

③, ⑤, ⑧番。

※①, ②, ④, ⑥, ⑦番は理解を助けるために用意したPC。



大須賀中学校:大石尚代先生から

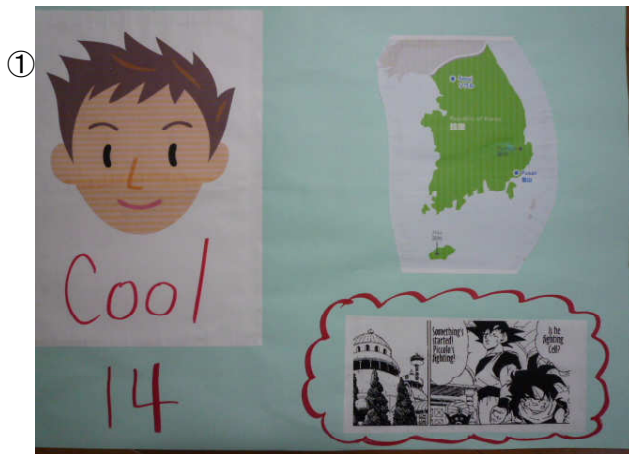
お借りしたビデオテープー
こちらも授業で紹介しました

←生徒が家から持ってきてくれた本を授業で紹介

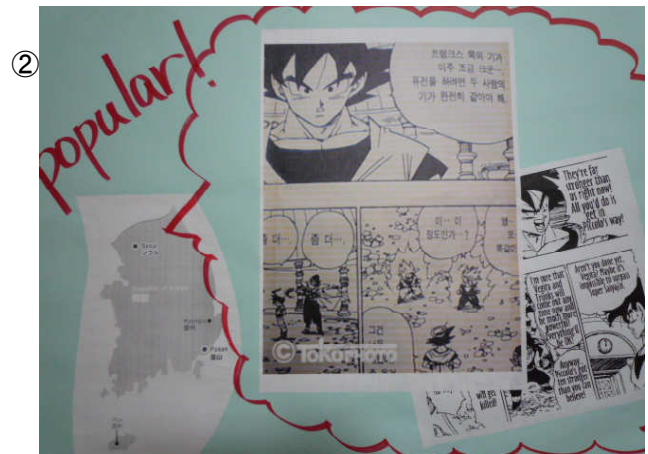


リプロダクションまでもっていく教科書指導については、今年度夏の自主研でも発表させていただく機会があり、紹介させていただいた。現在、桜ヶ丘中学校をはじめ、いくつかの中学校でリプロダクションまでもっていく教科書指導が実践されている。取り組まれた先生方からは、「生徒に内容を理解させやすい」「行き詰まった教科書指導が打破できた」「生徒が自信をもって授業に取り組めるようになった」などの意見が聞かれた。今後も、多くの先生方からの意見を参考にしながら、よりよい教材作りをおこないたいと考える。

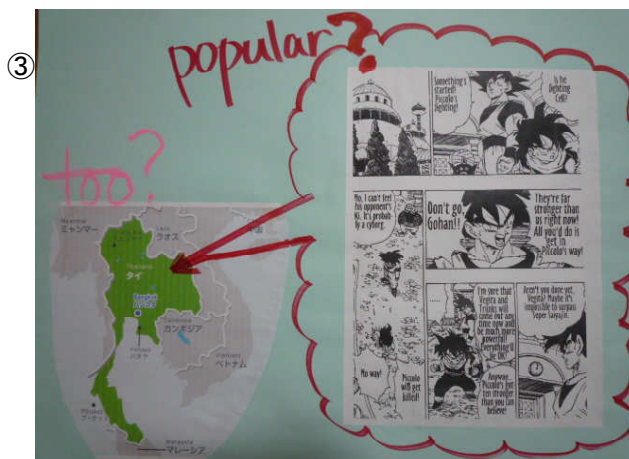
【資料】 口頭導入時に用いた自作ピクチャーカードの例 (Unit3)



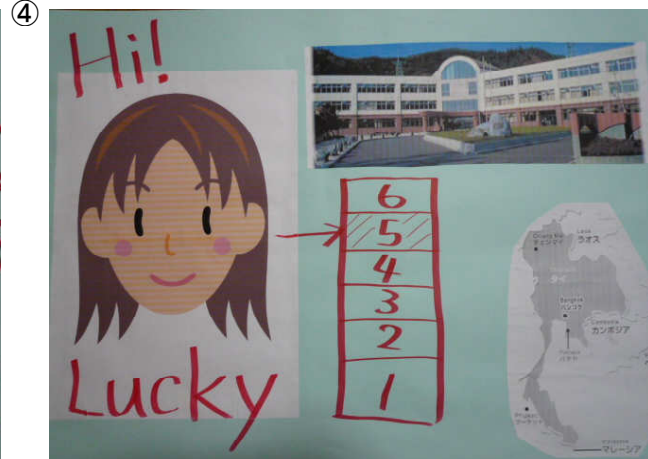
My name is Cool. I'm fourteen and I live in Korea.
I like comics.



In Korea they're very popular.



Are they popular in your country, too?



Hi, Cool! I'm Lucky. I'm in the fifth grade.



We also like to read comics.



We have a manga club at school.
Do you know the word *manga*?



I'm Sea. I'm seventeen and I live in China.
I know the word *manga*.



It comes from the Japanese language.



In 2000 Hong Kong hosted
the fourth Asian *Manga* Summit.



Many people got together
to talk about *manga* culture.



I like *manga*.
It can tell us about different cultures.



I hope to hear from you soon.

② 教科書本文のsummary

教科書本文の summary の一部を空欄にし、それらを埋めさせた。空欄にする語(句)は、前置詞や助動詞など、生徒が苦手としている部分や、新出語などとした。生徒は、黒板の絵を見ながら、何度も文章を読み返して空欄を埋めた。ここでは、教科書を開かせないで穴埋めをさせた。

【資料】教科書指導 ワークシート(表)

Unit 3 E-pals in Asia ②

Class() No.() Name()

★ Summary ★

Sea is 17 and she lives in ().

The word *manga* comes () the Japanese language.

Hong Kong hosted the () Asian *Manga* Summit.

Many people talk () *manga* culture.

Manga () us about () cultures.

★ T or F ★

- ① Sea is a junior high school student.
- ② There was a *manga* summit in Hong Kong.
- ③ Sea tells about different cultures.

①	②	③
---	---	---

★ Q&A ★

- ① Where does Sea live?

- ② Does she know the word *manga*?

- ③ Where did they have the fourth Asian *Manga* Summit?

- ④ What can *manga* tell us?

【資料】教科書指導 ワークシート(裏)

①絵を見て，Reproduction してみよう！



② Writing に挑戦してみよう！

	私はシーです。私は 17 才で、中国に住んでいます。
	「マンガ」という言葉は知っています。 それは日本語から来た物です。
	2000 年に、香港が第 4 回アジア・マンガサミットを主催しました。
	多くの人々が、マンガ文化を語るために集まりました。
	私はマンガが好きです。 それは私たちに異文化について教えてくれます。
	あなたたちからのメールを待っています。

③ 音読活動の工夫

ア 導入時のbackward reading

長い文の読みを chorus で行っていて、途中から読みがバラついてくるような時に行う活動。例えば、In 2000 Hong Kong hosted the fourth Asian Manga Summit. という文であれば、

- a) Manga Summit b) Asian Manga Summit c) the fourth Asian Manga Summit
- d) Hong Kong hosted the fourth Asian Manga Summit
- e) In 2000 Hong Kong hosted the fourth Asian Manga Summit.

のようにリピートしていく。これにより、文末の語句を繰り返し読むことになり、最後まできちんとと言えるようになる。教科書を閉本しているときに主に使っている。

イ 十分な内容理解後のread and look up

内容を理解し、ある程度教科書本文が言えるようになってから開本し、音と文字をつなげさせる。read and look up では、一文ずつ本文を覚えてから、顔を上げて読みを行うようにする。ここでは、意味のまとまりを考えながら本文を言うようにすることが大切である。読むときに本文を見ることができないため、読むときの集中力が増していると感じる。また、1文ずつなので英語が苦手な生徒にとっても抵抗が少なく、1回ごとに達成感があると考えられる。

ウ reproductionにつながるresponse reading

教科書を閉本した状態で、CDや教員の音読を聞き、音読が途中で休止したら、生徒はその続きを文の終わりまで言う。言い終わったら続きの音読を聞き、また途中で休止したら続きを読む。その単元で学習する言語事項を用いている文章では、積極的に休止を入れるようにすると、学習した言語材料の確認の場になる。

エ リレー形式のindividual reading

個人で本文を読む時には、一回通り読んだら列の前の席に移動する。最前列で読み終わったときは、最後尾に移動する。こうして一回読むごとに座席を移動し、自分の席に戻るまでくり返す。列ごとの競争にすると、生徒は意欲的にとりくみ、時間も短くてすむ。開始前に不明な単語の読みについては確認するようにしておくと、きちんと読むようになる。

オ 3秒ルールのつなげreading

生徒は本文のどこでもいいので、一文挙手をして読む。ただし、3秒以内に誰かが手を挙げて、次の文の読みを行わなければならない。また、一人一度しか読むことができない。全員が読みに参加すること、本文の最後まで読み切ることが条件となっている。簡単な文だからと、一度に多くの生徒がそこで挙手をする、本文の最後までたどり着く前に全員読み終えてしまうため、スリルがあり、楽しく reading ができる。

カ つなげpair reading

ペアで読みを順番に行っていく。交代する場所は、文のどこでもよい。交代して欲しいときは机をたたいて知らせる。間を開けずに読むように指示すると、ペアの読みを集中して聞くようになる。

④ 教科書本文のreproduction

●reproductionまでもっていく

reading指導●

【閉本】

- ①PC+keywordsでoral introduction
- ②一文ずつ本文のrepeat
- ③内容に関するQ&A
- ④flash cardで新出語(句)の確認
- ⑤summaryを見て空欄を埋める
- ⑥Q&Aに近い形で本文を誘い出す

【開本】…音読

- ①chorus reading
- ②read and look up
- ③individual reading
- ④response reading

reproduction とは、教科書で読んだ本文のストーリーを、教科書やノートを見ないで自分の英語で再生していく活動である。音読で取り入れた語彙や構文などの知識を実際使用することで、知識が intake されると考え、取り組んでみた。ここでは、十分に内容を理解させることとともに、生徒がストーリーの流れを思い出しやすいように、明確なヒントを与えることに気をつけた。reproduction した内容は、隣の人に聞いてもらって確認したり、ボイスレコーダに録音して自分で確認させたりした。

reproduction までもっていくために、今年度本校で行って見た reading 指導の流れが左図である。

セクションごとのワークシートには、必ず黒板に貼った絵と同じものを用意し、自主学習時に絵を見て文を再生する練習ができるようにしている。

(2)教科書本文を理解させた後の活動


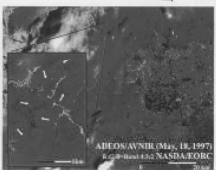
① 教科書の本文を読んで、不明確なことについて質問をするactive reading

少しでも生徒の頭の中に本文を記憶させておくためには、繰り返し本文に触れさせることが重要だと考える。そこで、生徒が意欲的かつ自然に、本文に繰り返し触れる活動を考え、実践した。

【3年:Lesson 3 Kumi Visits China】

【生徒が書いた質問】

③ Ming: You went to the Great Wall, didn't you?
Kumi: Yes, I did. It was huge.
Ming: Well, have you ever seen this?
Kumi: No, I haven't. What is it?
Ming: It's a photo of the Great Wall from space.
Kumi: Wow. I was surprised at its size.
I've never seen such a long wall.

万里の長城
人工衛星から撮影した万里の長城

Ming: You went to the Great Wall, didn't you?
Why do you know that?
Who do you hear about?
When do you know about it?
Kumi: Yes, I did. I was surprised at its size. It was huge.
How have you feel about his question?
When do you see it? Why do you think that?
How long is it?
Do you love him? Do you like it?
Ming: Well, look at this photo. Have you ever seen this?
Where is the photo?
When do you get it? Do you get it for Kumi?
Why do you get it?
How much is it? Do you think Kumi never seen this?
Kumi: No, I haven't. What is it?
Do you think about this picture?
What's matter today? Are they in Japan now?
How many peoples are there now?
What day is it today? Is it holidays now?
Ming: It's a photo of the Great Wall from space.
When do you get it? Do you think the plane?
When do you know it? When do you learn the technique?
Are you got it by anyone? Who teach you it?
Do you want to go to space with Kumi in the future?
Kumi: Wow. It's really long. I've never seen such a long wall.
What do you think about him?
How do you go there?
How many boyfriends do you have?
How does Mings look?

教科書本文は、生徒が効率よく学習できるように作られており、文の量にも配慮されているため、内容が曖昧なことが多くある。そこで、本文の内容理解を図った上で、不明確なことや知りたいことについて質問させる活動をおこなった。これにより、場面を


よく考え、不自然なところやはっきりしないところを読み取ろうとすることができた。この Lesson では、「なぜ Ming は、Kumi が万里の長城に行ったことを知っているのか?」や、「いつの間にこんな写真を用意したのか?」「ミンは久美のことが好きなのか?」などの疑問が挙げられ、全体で考えた質問を出し合う中で、楽しく活動することができた。

② 本文に関する質問を生徒が作成するmake questions

【2年:Let's Read 1 A Pot of Poison】

【生徒が書いたquestionsと解答】

Master : I'm going away for two days.
An : Yes, master.
Master : See that pot? It's very important. Watch it.
Chin : Yes, master.
Master : But don't touch it. It's full of poison.
Kan : Poison? Poison!
Master : Yes. Poison. Don't look into it either.
An, Kan, Chin : No, master. We'll be very, very careful.
Master : Good. I'll see you in two days. Goodbye.



★ Let's Make Your Original Question ★ ~ Question を自作してみよう！ ~

① Yes-No Questions

Does the master say, "Don't touch the pot."?
Do An, Chin and Kan eat the honey?
Does Chin say "Soon we'll die."?

② Wh- Questions

Who cracked over the pot?
Why didn't An, Chin and Kan die?
What was in the pot?

③ 直接本文に答えがない Questions

Why did the master say, "The pot is full of poison."
Why did Kan think it's honey?
Where did the master go away?

Let's Answer Your Friends' Questions

④ Yes-No Questions

No, he isn't. → 17-32h
Yes, he is. → 34-36h
No, it isn't. → 1-2

⑤ Wh- Questions

An cracked. → 17-32h
An cracked over the pot when the master was going on. → 34-36h
It's the master's. → 1-2

⑥ 本文にないもの Questions

I think his name is Oshio.
No?
Maybe, they're from China

本文を読んだ後、① Yes-No question, ② Wh quesiton ③ 本文に答えがない question の３種類の質問を生徒自身に作らせる活動を行った。作った後は、小集団（４人組）でお互いに質問を出し合った。全員が出し合って問いに答えた後、答え合わせも行った。③を作らせたことで、"Why did the master say, "The pot is full of poison."?のような、

"between the lines" question や"beyond the lines" question を作る
 ことができた。また、疑問文の文法チェックもお互いにできた。

③ 本文の内容の続きを考え, original storyを作成する活動

【2年: Lesson 3 At the Zoo】

【生徒が自主学習の中で書いたoriginal story】




② *Ratna* : Those cages are so small.

Ken : Yes. The large animals need more space.
Will they go back to the wild?

Ratna : No, they won't. Many animals
have no homes in the wild.

Ken : What do you mean?

Ratna : Their homes and forests are
disappearing. So they can't
survive.



Kumi's Birthday story part 7

又美と健太は × × 一緒に 楽しめた...

Ming & Paul & Emma: Stop!! (They separated Ken from Kumi)

Ken: Ouch!

Emma: Sorry, Ken! But it is for you!

Ming & Paul: Kumi... Are you all right?

Kumi: Yes... Why do you ask me?

Ming: If your mouth get dirty, what shall I do? I think it.

Kumi: Ken isn't such a dirty man...

Ming: I. I don't think so!! He is my best friend!

本文の内容理解と、動物愛護について考える活動が一通り終わったところで、登場人物であるケンとラトナが2人で歩いている絵を提示し、"They had a date. By the way, what do you usually talk on a date?"と質問し、本文の不自然さに気づかせた。

よく考えると、せっかくのデートだというのに会話を楽しんでいる様子は見られず、動物愛護の話に真剣になっているのである。これに気づかせた後、本文の前の部分「デートに誘う場面」、「デート中の会話」、「デートの後の場面」のいずれかについて考えさせ、original story を作成する活動を行った。生徒たちは、教科書の他の登場人物も登場させながら、ユーモラスな文章を作成した。作成した後は、相互に読み合って投票を行い、5 Best Stories を決定した。生徒の中には、単元終了後の自主学習として、さらに続きのストーリーを作成する生徒もいた。

④ テーマに沿ったstoryを作成する活動

せっかく教科書本文を intake するところまで学習しても、学んだことを output する機会がなければ、生徒は教科書を学習する有用性を見いだせない。自分の言いたいことや伝えたいことを表現する時に、教科書で学んだ表現を自然に用いることができれば、次の教科書学習を行う時のモチベーションを向上させることになると思う。

My name is _____.

I'm thirteen and I live in Japan.

In Japan Monster Hunter is very popular.

Many people have a Monster Hunter.

I'm happy to play it.

It hunts a monster.

Please tell me about your country.

My son has the game too!
When did you buy it?

★ Words List ★

English	Japanese
Monster	怪物
Hunter	狩人

(1年生時 学力調査25点生徒作品)

上図は、日本ではやっていることについて紹介のメールを書く活動で、生徒が書いた文章である。はやっている内容としては、「せっかくだから、自分の好きなテーマで書いてみよう」と指示し、芸能、スポーツ、ニュースなどのジャンルを提示し、辞書のみを使って個人作業で英文を作成させた。提出された物には、必ず内容に関するコメントを書いて返却するようにした。また、辞書で調べた単語については、words list に記入させるようにし、自分が興味をもっている内容について表現したい時には、いつでも振り返って参考にすることができるようにしておいた。

⑤ 自学ノートでの英作文・日記の奨励

Monday, July 20 I went to Anyoji Pool with my three friends. There we saw a lot of people swimming. We wanted to swim soon early. So we jumped into the water. Halfway I was hungry, I bought a frank. It's expensive, but it's good! Today was cloudy, but it wasn't cold. I want to go there someday. I went to the Wakaba River. We caught five fish. I had a good time. In the Afternoon I went shopping and bought some pens. I studied for two hours. Many people around the world make friends

毎日の自学ノートでは、学習内容として

- ①単語や句動詞、慣用表現の徹底練習
- ②教科書本文のリプロダクション練習
- ③英語ワークの練習 をあげているが、チャレンジしたい生徒には、英文日記を書かせるようにしている。

(資料7)は、ある生徒が書いた英文日記である。この日記を書いた7/20の時点で、教科書学習は Unit3 をちょうど終えたところであるが、いくつかの文章で、教科書で過去に学んだ文章を上手く用いて表現していることがわかる。4行目で用いられている、

"So we jumped into the water."は、Unit1 で学んだ、

"Rio jumped into the water, too." (p.6. 1.4~5) をうまく利用している。

このように、自分の言いたいことにうまく教科書の文章を用いることができたものは、授業の中で紹介し、教科書を身近な手本として感じさせるようにしている。

⑥ 聴き手を意識して本文を読むreading show

Reading Show

◇実施日 7月1日(火)第3時

◇内容 教卓の場所で、教科書の自分の好きな箇所を制限時間内読み続ける。

◇発表順 先生が指示した順

◇読む箇所 教科書 p.2～p.24

◇評価の観点

①Look-up で読んでいるか。
②声量、個々の音や音のつながり、リズムやイントネーションが英語らしいか。
③内容を理解し、それが伝わるように読んでいるか。

※当日は固定カメラを設置し、活動を記録する。

◇発表の手順>

- ①待機場所に移動して自分の順番を待つ。
- ②前の人が終わったら素早く発表場所に移動し、読み始める。
- ③会図があるまで、読み続ける。会図があったら途中ででもやめる。
- ④読み終わったら素早くその場を離れて次の発表者に譲る。

◇注意事項>

- ①発表が始まったら個人の練習は行わない。
- ②ロス・タイムをなくすため、少なくとも2人は待機場所についている。
- ③発表態度も評価の対象とするので、緊張感を持って行うこと。

※自分が選択した箇所を最高のレベルで読めるように十分練習しておくこと。
その際には評価の観点に留意して練習しましょう。

Kellerman(1985)の U-shaped development で主張されているとおり、教科書本文の言語データ運用力を高めるためには、繰り返しその本文に触れることが必要である。自主学習で触れさせることはその 1 つの例であるが、そのきっかけの 1 つとして、学期に一度 reading show を行っている。これは、学習済みの単元の中から 1 ページを自由に選択させ、声の大きさ、速さ、イントネーション、音の明瞭さなどに注意して聴き手を意識し、productive に本文を読む活動である。左図、実際に生徒に配布した文書である。

一人あたりの制限時間は 30 秒間。発表者のすぐ隣に 2 人ほど待機生徒として準備させておき、間をおかずに次々に自分が決めたページを読んでいく。評価の観点の第 1 は「look-up で読んでいるか」とし、聴き手を意識して本文を読むようにさせた。活動の様子はビデオに記録し、良かった生徒の発表は次の学年の生徒向けに残すようにしている。また、聴き手は各項目について A B C の 3 段階で発表者の評価を行った。

Ⅱ リプロダクションまでもっていく過程に関する意識調査とその分析

(1) 生徒の日記より

[illegible]

6 教訓後

物 プリントの絵・教科書で勉強の効率を上げてみてね!

日記 感想など

今日の3時間目に Mr. Unit 5 の Part 2 のワークと読みの所をやりました。教科書を使わないで、紙を引、たててみました。なので、(丸)によるたり書いたりしてよかったです。ワークと読解は、本当に思ってたよりも簡単です。7月です。読解、下駄をすいていこうに、大げげにやりました。これからのテスト勉強も教科書を使わないでやってみよう!

(2) 意識調査をもとにした3年生の分析

本年度、本校英語科で実践した教科書の導入方法やリプロダクションについて、教科書の内容を理解する上で有効であったかどうか、意識調査を実施した。

意識調査では、Likerton Scale を用いて無記名で実施した。論文第 5 項「研究成果」であげた項目以外にとったデータを次ページ以降にあげる。

① ある生徒の答案用紙より

LESSON1
I'll show you Two rings one point Are you Ok? Finally cut along
What happen to the rings?

LESSON2
Thank you for May I ask you few questions? I have lived in this town since
2002. Are you from Tennessee, aren't you? Mt. Kilimanjaro. biodiversity better crops
for eight years. interested in art. Tigris and Euphrates Look at these pictures for about ten years

LESSON3
Dear friend, I have just finished Yang a kabuki play Beijing opera. I was surprised
at Look at this photo. from the space

LESSON4
Have you heard about Sadako Sadako was ten years old when the Atomic Bomb
was over Hiroshima. She suddenly became sick at the age of twelve. She had hope.
She believed 'It is possible for me to get well. I'll make a thousand paper cranes'.
Sadako died. But many people remember her. They make paper cranes for her and for peace.
You know what, about Sadako. I have visited a lot of such cities. Look at this.
What do it say? It says that books about Sadako were published in over 30 countries.
So, her story is known around the world. What are those? They are strings of paper
cranes. We called senbazuru. I remember, people all over the world make senbazuru and
send them to Hiroshima. This is the Atomic Bomb Dome. What happened to it? The
bomb exploded near it. It reached 200 degrees Celsius. About 140,000 people were
killed. (Drama) That makes me sad, so we will never forget this. So the Dome is over
It shows the power of And importance of peace.

LESSON5
Ken, where do you want to go? I want to go to Mongolia. I'm interested in their life on the
great grasslands. I want to stay in a gel. Also, I want to go the Naadam Festival. (Drama)
be many things to see: horses running in race and people wrestling in Mongolian games. Besides,
Ulaanbaatar, where do you want to go? I want to go to Guiana Highland in South American.

There I can see the wonders created by nature. The Tabletop mountain is like islands
in the sky. And I can see Angel Falls. It falls straight down about one kilometre.
It is a longest waterfall in the world. Beautiful.
The place I want to go is Korea. My e-mail friend Mina, lives in Seoul. She writes to
me about what. I write to her about life in Japan. Korea is close to Japan.
But, I've never been there. For example, I want to visit Mina and go to a senbazuru
concert. It will be fun.

LESSON6
I have a dream. One day my four little children will not be judged by the color of
their skin... Martin Luther King Jr. said this in a speech in 1963. He had a dream
that is important to all of us. His dream was equality for all Americans, black and
white. He died for this dream. He fought for it and he died for it.
In those days, there are many things that African-Americans could not do.
There were toilets that they could not use. There were seats on buses that they
could not use. There were even drinking fountains that they could not use.
African-Americans lives were separate. But they fought against this Mrs Rosa Parks
was one of them. Mrs Rosa Parks was a black woman who always too bus home from
work. One day she took a seat over the white section. Soon the section filled up
or I'll call the police. She didn't move. The police came and arrested her.
Martin Luther King heard this. Let's support her. They started a boycott which lasted
more than a year. the civil rights movement. Nobel Peace Prize. For years
later. He died but he left the words. brotherhood slave owners.

リ
プ
ロ
ダ
ク
シ
ョ
ン
し
な
か
つ
た
単
元

リ
プ
ロ
ダ
ク
シ
ョ
ン
を
お
こ
な
つ
た
単
元

左図は、ある生徒の writing テストの答案用紙である。
テストでは、各單元ごと教師が日本語で内容を説明した。
生徒は、それを聞いて書ける文章を英文で書いた。リプ
ロダクションしなかった單元とおこなった單元では、生
徒が記憶している文章の量が極端に異なっていることが
分かる。

さらに、これを拡大した下図の通り、

LESSON1
I'll show you / two rings / one point

LESSON3.
I have just finished / Yang / a kabuki play / Beijing opera

*(/) は筆者が挿入。(/) の前後はつながりがいい。

リプロダクションしなかった單元では、文章にできず
に一部分しか書けない箇所が多く見られた。

一方で、おこなった單元では、下図の通り

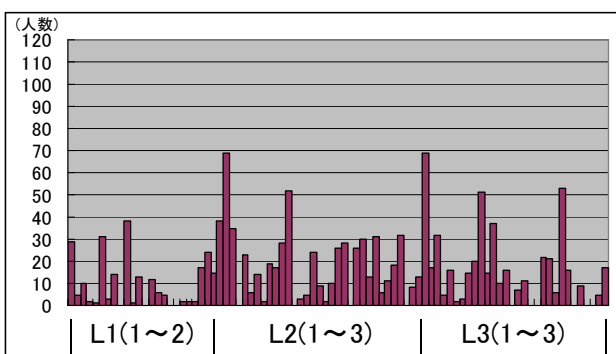
LESSON4
It says that, books about Sadako were published in over 30 countries
people all over the world make senbazuru and
send them to Hiroshima.

1 文が 10 語以上ある長い英文も、正しく書くことが
できている。

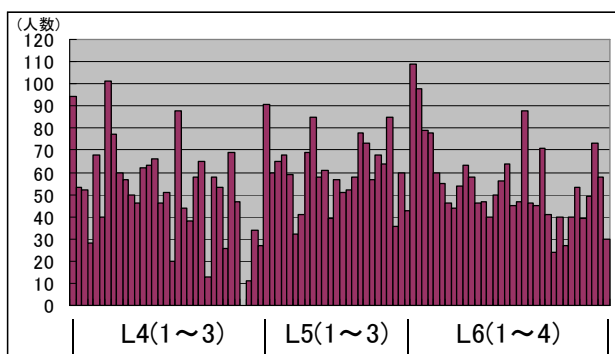
次頁にあるのは、学年全員の writing テストによる正
答者数を表すグラフである。

② writingテストにより正しい文が書けた生徒の人数

【リプロダクションをおこなっていない單元】

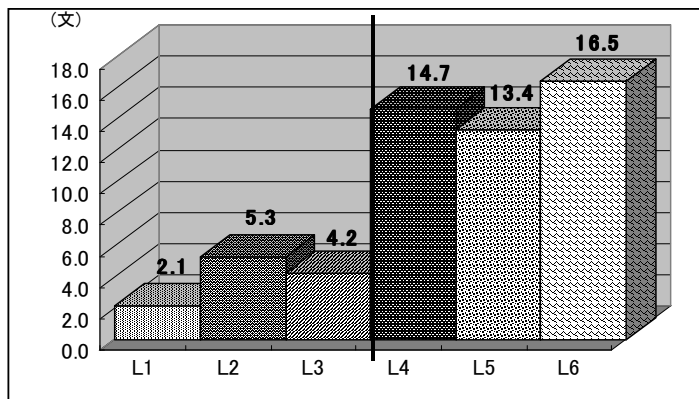


【リプロダクションをおこなった單元】



グラフからも分かるように、リプロダクションをおこなった單元はしなかった單元に比べ、はるかに多くの生徒が正しい英文を書くことができた。これらを、一人あたりの覚えている英文の量で表すと、以下の表の通りになる。

③ writingテストで正しい文が書けた一人あたりの分量



先ほどのある生徒の答案用紙とほぼ同じような結果が現れた。やはり、リプロダクションまでもっていく reading 指導をおこなったことで、生徒たちの頭の中に多くの生言語データを残すことができたと言える。

しかしここで一つ、疑問が残った。実は、Lesson2 では、教科書学習を終えた後、暗唱活動をおこなっていたのである。Lesson1 や Lesson3 に比べると、やや多くのデータが生徒たちの頭の中に残っていたが、リプロダク

ションまでもっていく活動をおこなった Lesson4 以降とは明らかに異なる。では、一体何が生徒にとって有効だったのであろうか？暗唱活動でおこなった活動は、以下の5点である。

- ①教科書を開本して教師がmodel readingをおこなった。
- ②単元の新出単語の意味を確認し、発音練習をおこなった。
- ③individual readingやpair readingをおこなった。
- ④内容理解を深めるためのT-F QuestionやQ&Aをおこなった。
- ⑤ペアで暗唱練習をおこない、できたらお互いにサインする活動をおこなった。

一方、リプロダクションまでもっていく reading 指導の中でおこなった活動は、以下の5点である。

- ①教科書本文の導入は口頭で行い、教科書は使わずpicture cardのみを使用した。
- ②新出語の類推をさせた後、本文summaryにある空欄を埋める活動をおこなった。
- ③内容理解を深めるためのT-F QuestionやQ&Aをおこなった。
- ④read and look-up方式で練習してから、individual readingをおこなった。
- ⑤リプロダクションをおこなう直前に、response readingをおこなった。

Lesson4 以降も共通しておこなったのは T-F Question, Q&A のみである。これらの活動をおこなったことで、より教科書の内容を深く理解させ、長期間生徒の頭の中に言語データを残すことができたと考える。さらに、生徒にこれらの活動の有効性について意識調査をおこなった。

意識調査はQ1と同じく Likerton Scale を用いて無記名で実施した。次頁の表がその結果である。

(3) リプロダクションまでもっていく過程に関する意識調査とその分析

① 内容理解を深める活動について

